

# 事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

令和 4 年 2 月 10 日時点

事務事業名	コード	36300 青少年センター活動費	予算科目	会計 一般	款 10	項 1	目 3	担当班	指導班	
施策体系	基本施策	28 防犯対策・交通安全の強化	根拠法令	千葉県青少年健全育成条例					事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業
	施策の展開	60 防犯体制の充実	戦略事業	253 青少年センター活動事業						<input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画
	施策の展開		戦略事業							<input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業

## (1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 21 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	近年、不審者による学校の侵入や登下校時等における子どもを巻き込んだ犯罪増加等、社会を震撼させる凶悪事件が発生している。本事業は、平成18年度から県主催の「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」(千葉県スクールガード・リーダー)制度により市内各小学校を巡回しながら児童の安全確保や不審者対応訓練への支援、「子ども110番の家」の増設等、学校や子どもたちの安全確保のための体制づくりを進めてきた。 平成20年度で県の制度が終了したが、本市では引き続き、小学校の防犯活動を中核として活動するスクールガード・リーダーを配置し、地域の方々や学校・警察等との連携を図りながら、子どもたちが安心して過ごせる学校安全体制の整備として、平成21年度以降も継続して実施している。 また、市内の巡回活動として、児童の見守りを中核としているが、生徒及び18歳未満の有職・無職少年も含めた見守り及び防犯活動も実施している。	不審者による学校の侵入や登下校時等の子どもを巻き込んだ犯罪が増加し、平成18年度より県主催の千葉県スクールガード・リーダー制度により市内各小学校に巡回した。平成20年度で県の制度は終了したが、本市では引き続き、スクールガード・リーダーを配置し、子どもたちが安心して過ごせる学校安全体制の整備として、平成21年度から継続して実施している。	児童生徒等を巻き込む犯罪は、全国でも凶悪化が目立ち、いつどこで発生してもおかしくない。どの学校においても、不審者対応訓練は、喫緊の課題として大変重要である。市内における児童生徒に係る不審者情報だけでも年間30件ほどあり、いつ重大事故につながるか予測がつかず、日頃から不審者に対する対応力や地域の見守りの目が必要不可欠である。	・児童生徒及び保護者から防犯活動回数や人員の増加の要望 ・警察関係から本センターとの連携強化 ・学校から各種防犯研修会の実施を要望 ・保護者から防犯パトロールの要望や不審者情報の問合せ等

## (2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(2年度の決算) 単位:千円						
1. 労災等保険料	12	臨時職員労災保険料				
2. 臨時雇用賃金	842	臨時職員1名(賃金、通勤)				
3. 消耗品費等	11	事務用品				
4. 燃料費	150	公用車用ガソリン代				
5. 通行料及び駐車料		通行料				
② 特定財源の内訳(2年度の決算) 単位:千円						
1. 国庫支出金	0					
2. 都道府県支出金	0					
3. 地方債	0					
4. その他	0					

事業費	費目内訳	1. 労災等保険料	千円	29年度(決算)	2	30年度(決算)	10	1年度(決算)	3	2年度(決算)	12	3年度(予算)	15
		2. 臨時雇用賃金	千円	772	784	747	842	1,057					
		3. 消耗品費等	千円	46	40	99	11	11					
		4. 燃料費	千円	105	131	110	150	151					
		5. 通行料及び駐車料	千円	12	6			14					
	事業費計(A)	千円	937	971	959	1,015	1,248						
財源	1. 国庫支出金	千円											
	2. 都道府県支出金	千円											
	3. 地方債	千円											
	4. その他	千円											
	5. 一般財源	千円	937	971	959	1,015	1,248						

前年度増減理由	スクールガードリーダーが会計年度任用職員となり、期末手当が支給されることとなったため。
---------	---

従事職員数	常時 1 人	最大 1 人 × 184 日 = 延べ 184 人
-------	--------	---------------------------

## (3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
	2年度実績(2年度に行った主な活動)			29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
	対象			29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)

手段	ア	スクールガード・リーダーによる校内巡視及び巡回日数	日	162	159	176	184	170
	イ	不審者対応訓練教室等の実施回数	回	8	6	6	9	6

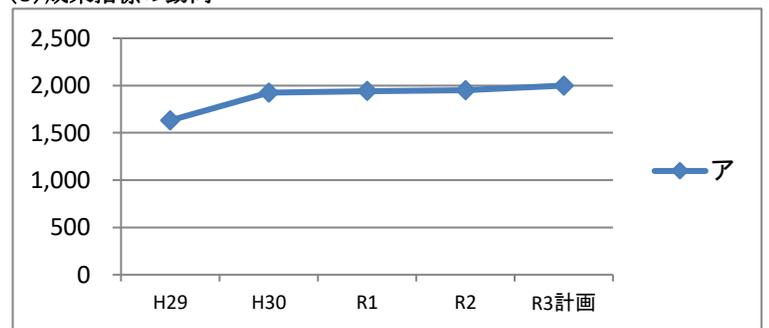
  

目的	ア	不審者情報の登録件数(防犯意識の高まり)	件	1,631	1,924	1,941	1,950	2,000
	イ							

## (4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	大きい	成果向上余地	コスト比率
	普通	かなりある	下位 1/3
	小さい	ある程度ある	中位 1/3
		ほとんどない	上位 1/3
		⑤	④

## (5) 成果指標の動向



## (6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> 概ね順調	<input type="checkbox"/> 停滞	<input type="checkbox"/> 実施困難							
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標のタイプ	数値増=成果向上	<input type="checkbox"/> 向上	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 低下	比較	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度
							成果動向	29年度	30年度	1年度	2年度	3計画
							ア	168	293	17	9	50
							イ					
③ 今年度取組事項(3年度に取り組みたい事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 見直し	4月当初	不審者情報メールの登録案内を小・中学校に案内する。また、登録案内の規模を拡大する。(高校や幼保など)				